

## 平成 30 年度 宮島学センター企画展示報告

- 期 間：平成 30 年 8 月 20 日～9 月 27 日
- 会 場：県立広島大学広島キャンパス図書館
- テーマ：「宮島の町並み－江戸時代の資料から読み解く－」



平成 30 年度の図書館企画展示は、「博物館展示論」を履修する学生 11 名が担当しました。今年度はセンターが所蔵する資料の中から、近世・近代に発展を遂げた宮島の町並みに関する資料を選んで展示しました。

学生は現地での取材を行い、厳島門前町の西側の地域（西町）に残る僧坊や社家の屋敷の変遷、東側の地域（東町）の今伊勢神社、存光寺、幸神社などを紹介しました。また、宮島のお土産物の定番である杓子を考案したことで有名な僧・誓真が掘った 10 か所の井戸（誓真釣井）についても紹介しました。

展示ケースごとの内容は次のとおりです。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ① 宮島 西町の形成    | ⑨ 今伊勢神社と存光寺    |
| ② 社家の屋敷       | ⑩ 宮島の恩人 誓真さん   |
| ③ 宮島における僧坊の変遷 | ⑪ 宮島を救った土産物 杓子 |
| ④ 大聖院         | ⑫ 広島藩士の厳島参詣    |
| ⑤ 本願 大願寺      | ⑬ 地図から見る厳島     |
| ⑥ 宮島 東町の形成    | ⑭ 絵図から見る厳島     |
| ⑦ 有浦の発展       | ⑮ 上卿屋敷         |
| ⑧ 幸町と幸神社      |                |

この展示には、延べ 288 名の方にご来場いただきました。期間中には、学生によるギャラリートーク（展示解説）も行いました。資料の拡大写真などを利用しながら、キャプション（解説文）だけでは伝えきれなかった資料の魅力を、自分たちの言葉で直接伝えることができました。



展示の様子